

善徳

七三四一〇〇〇四

広島市南区宇品神田四一十一一八

善徳寺

少し前のニュースになりましたが、テニスの大坂なおみ選手が、全米オープンで優勝して日本中が沸きました。グランドスラムと呼ばれる、テニスの4大会での日本人の優勝は初めてのことで、しかも、決勝の相手は、絶対女王と呼ばれるセリーナ・ウィリアムズだったということ、マスコミも連日このニュースを取り上げ、盛り上がりました。報道の中で、大坂選手と共にクロースアップされたのが、大坂選手の躍進のきっかけとなったと言われるコーチの存在です。絶妙なタイミングで、大坂選手のコーチになってから、大坂選手はめざましく成績を上げていきました。

このコーチと大坂選手の信頼関係が、事細かく報道されていましたが、その中のコーチの言葉で、心に響くものがありました。「相手が何もしていないのに、自ら負けていることに気づきなさい」というものです。戦いに入る前に、又試合中に、自分から「相手に力かなうはずがない」とか、「格が違うから、負けてもしかたない」とか、「もうダメなんだ」とか、自分の気持ちで、決めてしまっているということと、自ずから負けるような行動をとってしまっています。

身の回りで起きていることを、解釈し、行動を決めているのは、すべて自分の心です。心理学で使われる絵で、見方によって、テーブルのようにも人が向かい合っているようにも見え、絵があります。同じ一つの出来事でも違う見方ができるのです。昔聞いた法話で、天国と地獄を見比べた人の話というのがありました。始めに地獄の食事風景を見ると、長い棒に十人もの人の腕が結び付けられていて、てんでに自分の方に引っ張ったり、隣と喧嘩したりで、いつまでたってもご飯を食べることができません。なるほど、地獄とは大変な所だなあと思いながら、天国の方を見ると、なんと全く同じように皆の腕が結び付けられています。ただ、地獄と違うのは、みんな譲り合っていて、待たり力を合わせたりしながら、楽しく食べています。天国も地獄も、皆、自分が作り出しているという話でした。

人により物の見方の癖というものが、見方が偏っていたりします。そのことに気づきながら、楽しく前向きに生きて行きたいものだと思います。

〓報告

前坊守が百才を迎えて、広島市の健康長寿課からお祝いに来て下さいました。総理大臣と広島市長から、それぞれ立派なお祝いの額と記念品をいただき、とても喜んでいました。

和光園にて



報恩講法要

十一月二十七日(火) 昼、夜
二十八日(水) 朝、昼
講師 登世岡 浩雄先生

写真教室

十一月五日(月) 午後一時半より
撮った写真を見ながら構図の決め方などを習います。
講師 北恵 好照 先生

写経教室

十月二十日(土) 一時半より
写経用紙は準備してあります。
筆をお持ちください。筆ペンでも結構です。経典解説もします。

秋季永代経法要

十月二十二日(月) 昼席 一時 夜席 七時半
二十三日(火) 朝席 八時 昼席 一時

講師 廿日市 最禪寺 米田 順昭 先生

尚、十九日(金) 午後一時よりおみぎきをします。
〓〓〓〓〓参加下さい。

平成三十一年度前期

回忌法要御案内

(敬称略)

一周忌(平成三十年叙)

一月 山野アキノ 寺尾和子

二月 津川タカコ

三月 小林律子 福田豊

四月 大儀繁子 岡本進

五月 樋谷俊昌

六月 松本美紗子 長本博之

七月 近清佐智子 松田千枝

八月 境 巴 中神弘子

九月 安達康史

十月 佐々木マサコ

十一月 寺西ヤス子 藤井卓美

十二月 大原征司

一月 大成忠 橋本ミサヲ

二月 福傳敏之 長本政勝

三月 三回忌(平成二九年叙)

四月 高橋美奈子 吉田勝博

五月 辻 武司

六月 上田岩雄 富谷ツネ子

七月 正月谷榮太郎

八月 新土井清 真崎典子

九月 林なおみ 瀧本ウメノ

十月 山田秀雄 上本泰治

十一月 沖昭義 住田秀憲

十二月 伊藤昭江 銭谷シヅエ

一月 川口和則 児玉チヨコ

五月 山田辰子 下野與一

六月 田中昭廣 安部法壽

七月 池田安 吉川ユリコ

八月 七回忌(平成二五年叙)

九月 梶村常三 文鳳綿

十月 小路勝祐 八重垣弘

十一月 小田道子 北崎花子

十二月 板倉守 寄木美智子

一月 松田義之 小林官昌

二月 大鹿久子

三月 木戸正之 藤原子春

四月 水川フサコ

五月 福原嘉昭 河野博志

六月 土井節子 福田昭

七月 石浜誠二 日浦美浦子

八月 稲本アサコ 久松信行

九月 黒川政子 上本嘉哉

十月 藤原ミヅエ 新土井滉

十一月 一三回忌(平成一九年叙)

十二月 小林ヒサ子

一月 池田美寿枝

二月 細川進 山田貞夫

三月 佐々木松恵

四月 伊木聖 小林邦子

五月 高畑豊弘 新川敬一

六月 高畑孝一 石井智慧

七月 二又禮治 上木敏夫

八月 中元辰男 榎本ミカ

九月 松本美江子 室野勲

十月 十七回忌(平成一五年叙)

十一月 梶本ハスエ 藤井節子

十二月 和名谷義昭 木盛隆司

一月 濱野ヨシシ 竹本ヤチヨ

二月 滝村梅子 寺西ヒサコ

三月 佐々木孝次 鈴木詩温

四月 峠君子

五月 吉本弘人 藤井愛娘

六月 桜谷健三 黒川義明

七月 八重垣作雄 辻本フデ

八月 石部勝正 松田富子

九月 岡崎ヨシエ

十月 山崎サカエ

十一月 杉田光男 藤原トシミ

十二月 山下数男

一月 古澤シツエ 山本シズエ

二月 二五回忌(平成七年叙)

三月 大西玲三 竹本幹枝

四月 中河勇夫 清岡歌子

五月 花本イツミ 是政静夫

六月 和名谷スエコ 佐藤鉄雄

七月 高下三四三 池本安徳

八月 中倉美紀子 福傳和行

九月 石原藤乃 増田阿津美

十月 三月 山縣辰巳 吉岡純子

十一月 佐藤シズコ 山田エミ子

十二月 宮尾七奈江

一月 立島律子 東ヨシエ

二月 柴寄力ズエ 池田政幸

三月 中村ハルヨ 岸太郎

四月 三宅那津子 姫野静子

五月 岡本兼光

六月 三十三回忌(昭和六十二年叙)

七月 棟本忠義

八月 吉本元三 谷川リノ

九月 中村昭義 部屋増登

十月 藤堂謀

十一月 谷 各 長瀬広次

十二月 岡本孝之 金田秀雄

一月 山本昇 末本良一

二月 黒住又一 伊庭春子

三月 兼沢マツエ

四月 六月 立久恵 峽

五月 立久恵 峽

六月 立久恵 峽

七月 立久恵 峽

八月 立久恵 峽

九月 立久恵 峽

十月 立久恵 峽

十一月 立久恵 峽

十二月 立久恵 峽

一月 立久恵 峽

二月 立久恵 峽

三月 立久恵 峽

四月 立久恵 峽

五月 立久恵 峽

六月 立久恵 峽

七月 立久恵 峽

八月 立久恵 峽

九月 立久恵 峽

十月 立久恵 峽

十一月 立久恵 峽

十二月 立久恵 峽

一月 立久恵 峽

二月 立久恵 峽

三月 立久恵 峽

四月 立久恵 峽

五月 立久恵 峽

六月 立久恵 峽

七月 立久恵 峽

八月 立久恵 峽

九月 立久恵 峽

十月 立久恵 峽

十一月 立久恵 峽

敬 弔

お浄土に参られた方を謹んでお知らせ致します。

九月十五日寂 西三丁目 村上 敏枝様 八十七才

九月十八日寂 神田四丁目 長村 俊一様 九十三才

九月二十四日寂 千田町 大下 保様 九十四才

九月二十六日寂 五月ヶ丘 石橋 静枝様 九十才

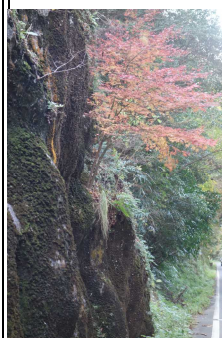
十月四日寂 神田五丁目 水岡 宮乃様 八十九才

十月六日寂 元宇品 中光 サツエ様 九十一才

「善徳」年七回発行

「善徳」年七回発行 護持会員には毎回配布

ホームページ「宇品善徳寺」



立久恵 峽

郵便番号 七三四一〇〇〇四
広島市南区宇品神田四丁目十一の八宗教法人 善徳寺
電話 082(251)6029
もみじ銀行宇品支店(普)008・0686234